

DANnash System

プロジェクト名	北米大停電プロジェクト		エントリーNo.	2004-02
プロジェクトの種類	タイプA	プロジェクト所在地	U. S. A ロサンゼルス	
出資金額募集総額	¥3, 000, 000.	予算総額	¥6, 000, 000.	
PJの開始時期	2004年4月	PJの終了時期	2005年1月	
プロジェクトの主体	北米大停電映画制作委員会in USA	責任者	片岡 秀明	

作品の特徴とアピール

本作品は、アメリカ、ロサンゼルスをメインロケーションにして、全米10の主要都市(NY、ボストン、シカゴ、シアトルなど)で撮影を行い、全米ロケを敢行する、日本人監督による90分の劇場用長編映画企画です。原因不明の停電により北米全体が暗黒と化し、展開が全く読めない怒濤に流れるシーンの連続で巻き起こる家族のドラマを描いた長編映画作品です。

この映画のメインコンセプトとして、家族の「絆」を描こうと考えています。家族の絆を明確に感じる時はどのようなのか？何の変哲も無い馴れ合いの日常の生活の中で、お互いの存在感が薄れ、その関係が一体何なのか？不明確となった時代に、常に価値観や一般通年が流動する現代に、それでも決して変わらない、しかし目に見えない「家族の絆」が時代に翻弄される事なく、変わらず実存する事を顕在化すべく本作品でそれを描きたいと考え、本企画を立ち上げました。

本作品は低予算であっても内容的にも技術面でもクオリティーの高い作品に仕上げる事が可能です。本作品は、世界中から沢山のフィルムメーカーが集まる「ハリウッド」で製作されます。企画書・脚本の完成度から、学生からプロまで、沢山の映画関係者が本作品に参加する意志を明確にしております。本企画は、低予算にしてスケール感の大きなエンターテインメント作品として完成させる事が可能な稀な作品です。全米ロケもさる事ながら、特殊撮影による停電してしまった街の月明かりの映像群。そこで巻き起こる密室劇の要素を多分に含んだ家族ドラマ、短時間で沢山のフッテージを稼ぎ出す撮影手法。製作・配給において沢山のメリットを生み出す極めて稀な製作スタイルで絶大な効果を上げる事が出来る物語となっています。

本作品に関しまして、御興味を持って頂いた方々には、是非、プレゼンテーションにおいて頂き、本作品がどれだけ優れた企画であるか、その詳細をお伝え出来る機会が得られる事を願っています。

計画の実行性の説明

本作品の製作総予算は上限600万円が必要であると考えています。投資希望額を300万円と設定しておりますが、是非本企画に興味を持って頂いた投資家の方々には、本企画の投資希望額を600万円として御考え頂きたいと考えています。企画を実行し推進し成功に導くためには、どのような人材が映画製作を行うか、そしてどのような製作システムを使用するかに依存します。本企画に参加するメンバーは、主要ポストに過去に数多くの長編映画を製作して来た経験豊富なプロで固められています。製作システムとしては、既存のハリウッドシステムを使用し、無駄のない高率性を重視した製作システムで製作に挑みます。また、製作プロダクションや配給関連を行うプロダクションへの強力要請も行う予定です。様々な製作システムが確立されているハリウッドであれば、企画の実行性は極めて高いと断言できます。

協力関係	協力団体	協力関係	協力団体